

テーマ	事業タイプ	事業名	産業分類（10分類）における支出内訳		
しごと創生	隘路打開タイプ	ジビエでつなぐ森とまち「ひたジビエ」ブランド化事業	日田市総額 8,448,000円 (内、交付金額4,224,000円)	→	その他 8,448千円 ※日田ジビエ推進協議会への委託費

KPI	当初値 H28.3時点	実績値 H29.3時点	実績値 H30.3時点	備考
イノシシ・シカによる農林産物被害額	23,084千円	20,432千円	17,353千円	前年より3,079千円減
獣肉販売数量	1,035kg	1,015kg	2,129kg	前年より1,114kg増



◆事業効果		
①	①地方創生に非常に効果的であった ②地方創生に相当程度効果があった ③地方創生に効果があった ④地方創生に対して効果がなかった	<凡例> ①全てのKPI目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合 ②一部のKPIが目標値に達しなかったものの、おおむね成果が得られたとみなせる場合 ③KPIの達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取り組みが前進・改善したとみなせる場合 ④KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても全身・改善したとは言い難いような場合
◆実施計画に記載された自立化の見込み		
①	①あり（自主財源による自立） ②あり（地方公共団体の一般財源による負担） ③なし	<この事業における自立化> 獣肉処理施設の経営は、平成24年度の開設以降、平成26年度まで赤字決算であり、平成27年度はわずかに黒字となった。本事業を展開することにより、獣肉販売収入等の増加を目指し、自主財源の確保を図ることを想定。
◆自立化の見込み「あり」と回答した場合、平成29年度事業を踏まえた自立化の進捗		
②	①見込みを上回って自主財源等確保 ②見込みどおり自主財源等確保 ③見込みを下回って自主財源等確保 ④自主財源等の目処はたっていない	<この事業における自立化> 獣肉処理施設の経営は、平成24年度の開設以降、平成26年度まで赤字決算であり、平成27年度はわずかに黒字となった。本事業を展開することにより、獣肉販売収入等の増加を目指し、自主財源の確保を図ることを想定。

実施事業／事業費
<p><b>ひたジビエブランド化事業</b> 8,448千円</p> <p>野生鳥獣による農林産物被害の軽減を目的として捕獲対策を推進するとともに、その結果得られる野生鳥獣肉の商品化と戦略的な販売体制を構築することで、獣肉の地域特産品としての認知度の向上と安定的な収入の確保を図り、獣肉処理施設の経営安定化と雇用の創出、地域経済の浮揚を図るもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外部アドバイザーによる商品開発</li> <li>ひた生活領事館を活用した福岡地区での販売促進活動</li> <li>福岡市ホテルでの試食会</li> <li>市内学校給食での導入</li> <li>市内高校生による料理コンテスト</li> </ul>

「ジビエでつなぐ森とまち「ひたジビエ」ブランド化事業」事業

1年目(H28)	2年目(H29)	3年目(H30)
<p>【事業名(事業内容)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>商品開発 外部アドバイザーによる商品開発</li> <li>販売促進活動 ひた生活領事館での販促キャンペーン</li> <li>試食会の開催 市内飲食店や宿泊施設を対象とした試食会</li> <li>販路拡大等調査研究 民間事業者との調査研究</li> </ul>	<p>【事業名(事業内容)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>商品開発 外部アドバイザーによる商品開発</li> <li>販売促進活動 福岡での販促キャンペーン、福岡の飲食店等を招いた現地ツアー</li> <li>試食会の開催 福岡市のホテルでの試食会</li> <li>学校給食のメニュー導入 市内学校給食での導入</li> <li>アイデア料理コンテスト 市内高校生による料理コンテスト</li> </ul>	<p>【事業名(事業内容)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>商品開発 外部アドバイザーによる商品開発</li> <li>販売促進活動 福岡での販促キャンペーン</li> <li>試食会の開催 日田市内飲食店での試食会</li> <li>学校給食のメニュー導入 市内学校給食での導入</li> <li>アイデア料理コンテスト 市内高校生による料理コンテスト</li> </ul>
<p>【事業の目的】</p> <p>「ひたジビエ」の知名度の浸透とイメージアップを図るため、協議会を立ち上げ販売戦略を構築する。</p>	<p>【事業の目的】</p> <p>販売戦略に基づいて、福岡市を中心とした、「ひたジビエ」の販売促進キャンペーンを実施する。</p>	<p>【事業の目的】</p> <p>事業最終年度として、これまで2年間の事業効果を検証し、「ひたジビエ」の浸透とイメージアップを図るため、継続して福岡市においてキャンペーンを実施する。</p>
<p>【重要業績評価指数(KPI)】</p> <p>農林産物被害の軽減：△684千円 獣肉販売数量：1,100kg</p>	<p>【重要業績評価指数(KPI)】</p> <p>農林産物被害の軽減：△1,284千円 獣肉販売数量：1,500kg</p>	<p>【重要業績評価指数(KPI)】</p> <p>農林産物被害の軽減：△1,884千円 獣肉販売数量：2,000kg</p>

# 地方創生推進交付金 事業実施報告（様式1）

○回答欄について

: 記述式     : プルダウン選択式     : 半角数字での記述式

都道府県名	大分県	市町村名	日田市
コード	44204		

担当部署課名	林業振興課	担当者氏名	牛王賢治
メールアドレス	rinsei@city.hita.oita.jp	電話番号	0973-22-8212

注) 都道府県名及び市町村名をプルダウンで選択（都道府県の回答の場合、市町村名は不要）  
注) コードは自動で表示（記載不要）。

**※ 事業実施報告は「事業ごとに」それぞれ1ファイル作成してください。**

## I. 推進交付金事業の振り返り

### A. 基礎情報

1. 本事業の事業名称、実績額、単独事業と広域事業の別、事業実施計画の申請時点のテーマをお聞かせください。【全員】

事業名称	平成29年度 実績額 [単位: 円]	単独事業と広域事業の別	事業実施計画(申請)段階のテーマ	事業タイプ	事業開始年度	事業実施期間
ジビエつなぐ森とまち「ひたジビエ」ブランド化事業	総額 ¥8,448,000 うち国費 ¥4,224,000 うち単費 ¥4,224,000	市単	【しごと創生】農林水産分野	隘路打開タイプ	H28年度	3年

注) 推進交付金交付要綱 別紙様式 II 実績報告書で報告した金額（円単位）を記載。↑

注) 単独事業と広域事業の別、事業タイプは自動で表示（記載不要）。

1-1. 推進交付金の対象経費の支出内訳について、貴団体が支払った相手先の業種別（①～⑩）にお聞かせください。【全員】

平成29年度の事業の 支出の内訳 [単位: 千円] ※概数で結構です※ ※「千円」単位でご記入下さい。										推進交付金 交付対象経費の 支出額(合計) [単位: 千円]	
①農林水産	②建設	③製造	④情報通信	⑤運輸・郵便	⑥商業 (卸・小売)	⑦金融・保険	⑧不動産・ 物品賃貸	⑨サービス	⑩その他	①～⑩の合計	
									8,448	8,448	8,448

注) 支払い相手先業種別の内訳は、概数で結構です。（合計が、最右欄の推進交付金交付対象経費の支出額合計に概ね一致しているかご確認ください。）

注) 支払い毎に、支払相手が属する業種①～⑩欄に当該支払額を加算してください。

注) ある支払い先が①～⑩のどの産業分類に該当するか判断することが難しい場合には、「別紙」設問1（産業分類）シートを参照し、代表的な産業分類に計上ください。

### B. KPIの設定・成果

○本事業における重要業績評価指標（KPI）の設定、及び成果の確認【全員】

2. 本事業における重要業績評価指標（KPI）の名称、意味付け、当初値・目標値・実績値等について、お聞かせください。

**※KPIが5つ以上ある場合には、右欄外の表（設問2追加記入欄）にご記入ください。**

		KPI 1	KPI 2	KPI 3	KPI 4	KPI 5																																																														
ア. 本事業における重要業績評価指標（KPI）の名称 ※事業実施計画を確認してご記入ください。	→	イノシシ・シカによる農林産物被害の軽減	獣肉販売数量																																																																	
イ. KPI の分類 ※右記の凡例より選択ください。	→	④総合的なアウトカム	③交付金事業のアウトカム																																																																	
ウ. KPI の対象 ※単独事業の場合は必ず②となります。	→	②貴地方公共団体単独 として目指す水準	②貴地方公共団体単独 として目指す水準																																																																	
エ. KPI の意味付け	→	<p>&lt;凡例：選択肢&gt; 注) 下記①～④で想定するKPIの具体イメージについては、「別紙」設問2（KPIの意味付け・分類）シートをご参照ください。</p> <table border="1"> <tr> <td>① インput</td> <td>交付金事業に投入される資源（ヒト・モノ・カネ・時間）</td> </tr> <tr> <td>② アutput</td> <td>交付金事業による活動量（仕事の量・頻度・投下時間）</td> </tr> <tr> <td>③ 交付金事業のアウトカム</td> <td>交付金事業から直接的にもたらされる成果・効果</td> </tr> <tr> <td>④ 総合的なアウトカム</td> <td>様々な事業・施策・政策の総体によって得られる成果・効果</td> </tr> </table>					① インput	交付金事業に投入される資源（ヒト・モノ・カネ・時間）	② アutput	交付金事業による活動量（仕事の量・頻度・投下時間）	③ 交付金事業のアウトカム	交付金事業から直接的にもたらされる成果・効果	④ 総合的なアウトカム	様々な事業・施策・政策の総体によって得られる成果・効果																																																						
① インput	交付金事業に投入される資源（ヒト・モノ・カネ・時間）																																																																			
② アutput	交付金事業による活動量（仕事の量・頻度・投下時間）																																																																			
③ 交付金事業のアウトカム	交付金事業から直接的にもたらされる成果・効果																																																																			
④ 総合的なアウトカム	様々な事業・施策・政策の総体によって得られる成果・効果																																																																			
エ. KPI の当初値	→	<p>【注意】設問ウにおいて、「①連携地方公共団体の総体」と回答した場合は、代表地方公共団体が否かによって以下の通り記載方法が異なります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>代表地方公共団体の場合：「貴地方公共団体としての実績値」ではなく、あくまで「連携地方公共団体総体としての実績値」をご記入ください。</li> <li>代表地方公共団体以外の場合：当該KPIに関しては記載不要です。</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>当初値</th> <th>[単位]</th> <th>当初値</th> <th>[単位]</th> <th>当初値</th> <th>[単位]</th> <th>当初値</th> <th>[単位]</th> <th>当初値</th> <th>[単位]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23,084</td> <td>千円</td> <td>1,035</td> <td>kg</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th colspan="2">計測年月</th> <th colspan="2">計測年月</th> <th colspan="2">計測年月</th> <th colspan="2">計測年月</th> <th colspan="2">計測年月</th> </tr> <tr> <td>平成</td> <td>28年</td> <td>3月</td> <td>平成</td> <td>28年</td> <td>3月</td> <td>平成</td> <td>年</td> <td>月</td> <td>平成</td> <td>年</td> <td>月</td> </tr> </tbody> </table> <p>平成28年度からの継続事業の場合のみ、自動表示されます。平成29年度新規事業の場合は「-」のままで結構です。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>当初値</th> <th>[単位]</th> <th>当初値</th> <th>[単位]</th> <th>当初値</th> <th>[単位]</th> <th>当初値</th> <th>[単位]</th> <th>当初値</th> <th>[単位]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20,432</td> <td>千円</td> <td>1,015</td> <td>kg</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					当初値	[単位]	当初値	[単位]	当初値	[単位]	当初値	[単位]	当初値	[単位]	23,084	千円	1,035	kg							計測年月		計測年月		計測年月		計測年月		計測年月		平成	28年	3月	平成	28年	3月	平成	年	月	平成	年	月	当初値	[単位]	当初値	[単位]	当初値	[単位]	当初値	[単位]	当初値	[単位]	20,432	千円	1,015	kg						
当初値	[単位]	当初値	[単位]	当初値	[単位]	当初値	[単位]	当初値	[単位]																																																											
23,084	千円	1,035	kg																																																																	
計測年月		計測年月		計測年月		計測年月		計測年月																																																												
平成	28年	3月	平成	28年	3月	平成	年	月	平成	年	月																																																									
当初値	[単位]	当初値	[単位]	当初値	[単位]	当初値	[単位]	当初値	[単位]																																																											
20,432	千円	1,015	kg																																																																	
エ. KPI の目標値設定	→	<p>【注意】設問ウにおいて、「①連携地方公共団体の総体」と回答した場合は、代表地方公共団体が否かによって以下の通り記載方法が異なります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>代表地方公共団体の場合：「貴地方公共団体としての実績値」ではなく、あくまで「連携地方公共団体総体としての実績値」をご記入ください。</li> <li>代表地方公共団体以外の場合：当該KPIに関しては記載不要です。</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標値(増分)</th> <th>[単位]</th> <th>目標値(増分)</th> <th>[単位]</th> <th>目標値(増分)</th> <th>[単位]</th> <th>目標値(増分)</th> <th>[単位]</th> <th>目標値(増分)</th> <th>[単位]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-684</td> <td>千円</td> <td>65</td> <td>kg</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th colspan="2">目標年月</th> <th colspan="2">目標年月</th> <th colspan="2">目標年月</th> <th colspan="2">目標年月</th> <th colspan="2">目標年月</th> </tr> <tr> <td>平成</td> <td>31年</td> <td>3月</td> <td>平成</td> <td>31年</td> <td>3月</td> <td>平成</td> <td>年</td> <td>月</td> <td>平成</td> <td>年</td> <td>月</td> </tr> </tbody> </table> <p>目標値や目標年月を、半角数字で記入することが出来ない、その他上表に記載困難な場合には、以下備考欄をご活用ください。</p>					目標値(増分)	[単位]	目標値(増分)	[単位]	目標値(増分)	[単位]	目標値(増分)	[単位]	目標値(増分)	[単位]	-684	千円	65	kg							目標年月		目標年月		目標年月		目標年月		目標年月		平成	31年	3月	平成	31年	3月	平成	年	月	平成	年	月																				
目標値(増分)	[単位]	目標値(増分)	[単位]	目標値(増分)	[単位]	目標値(増分)	[単位]	目標値(増分)	[単位]																																																											
-684	千円	65	kg																																																																	
目標年月		目標年月		目標年月		目標年月		目標年月																																																												
平成	31年	3月	平成	31年	3月	平成	年	月	平成	年	月																																																									
カ. 事業実施計画の申請時点での、KPI の目標値設定	→	<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標値(増分)</th> <th>[単位]</th> <th>目標値(増分)</th> <th>[単位]</th> <th>目標値(増分)</th> <th>[単位]</th> <th>目標値(増分)</th> <th>[単位]</th> <th>目標値(増分)</th> <th>[単位]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-600</td> <td>千円</td> <td>400</td> <td>kg</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					目標値(増分)	[単位]	目標値(増分)	[単位]	目標値(増分)	[単位]	目標値(増分)	[単位]	目標値(増分)	[単位]	-600	千円	400	kg																																																
目標値(増分)	[単位]	目標値(増分)	[単位]	目標値(増分)	[単位]	目標値(増分)	[単位]	目標値(増分)	[単位]																																																											
-600	千円	400	kg																																																																	
キ. 事業実施計画の申請時点での、KPI の目標値設定	→	<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標値(増分)</th> <th>[単位]</th> <th>目標値(増分)</th> <th>[単位]</th> <th>目標値(増分)</th> <th>[単位]</th> <th>目標値(増分)</th> <th>[単位]</th> <th>目標値(増分)</th> <th>[単位]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-1,284</td> <td>千円</td> <td>465</td> <td>kg</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					目標値(増分)	[単位]	目標値(増分)	[単位]	目標値(増分)	[単位]	目標値(増分)	[単位]	目標値(増分)	[単位]	-1,284	千円	465	kg																																																
目標値(増分)	[単位]	目標値(増分)	[単位]	目標値(増分)	[単位]	目標値(増分)	[単位]	目標値(増分)	[単位]																																																											
-1,284	千円	465	kg																																																																	
ク. 事業実施計画の申請時点での、KPI の目標値設定	→	<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標値(増分)</th> <th>[単位]</th> <th>目標値(増分)</th> <th>[単位]</th> <th>目標値(増分)</th> <th>[単位]</th> <th>目標値(増分)</th> <th>[単位]</th> <th>目標値(増分)</th> <th>[単位]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-1,884</td> <td>千円</td> <td>965</td> <td>kg</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					目標値(増分)	[単位]	目標値(増分)	[単位]	目標値(増分)	[単位]	目標値(増分)	[単位]	目標値(増分)	[単位]	-1,884	千円	965	kg																																																
目標値(増分)	[単位]	目標値(増分)	[単位]	目標値(増分)	[単位]	目標値(増分)	[単位]	目標値(増分)	[単位]																																																											
-1,884	千円	965	kg																																																																	
ケ. トータル事業終了時点	→	<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標値(増分)</th> <th>[単位]</th> <th>目標値(増分)</th> <th>[単位]</th> <th>目標値(増分)</th> <th>[単位]</th> <th>目標値(増分)</th> <th>[単位]</th> <th>目標値(増分)</th> <th>[単位]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-1,884</td> <td>千円</td> <td>965</td> <td>kg</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					目標値(増分)	[単位]	目標値(増分)	[単位]	目標値(増分)	[単位]	目標値(増分)	[単位]	目標値(増分)	[単位]	-1,884	千円	965	kg																																																
目標値(増分)	[単位]	目標値(増分)	[単位]	目標値(増分)	[単位]	目標値(増分)	[単位]	目標値(増分)	[単位]																																																											
-1,884	千円	965	kg																																																																	
コ. 備考欄	→																																																																			

【注意】設問において、「①連携地方公共団体の総体」と回答した場合は、代表地方公共団体が否かによって以下の通り記載方法が異なります。  
 ・代表地方公共団体の場合：「貴地方公共団体としての実績値」ではなく、あくまで「連携地方公共団体総体としての実績値」をご記入ください。  
 ・代表地方公共団体以外の場合：当該KPIに関しては記載不要です。

事業終了時点での、KPIの実績値	(継続事業のみ) サ. 平成28年度の事業実施による実績値	実績値(増分)	[単位]	実績値(増分)	[単位]	実績値(増分)	[単位]	実績値(増分)	[単位]	実績値(増分)	[単位]
		-2,652	千円	-20	kg						
	シ. 平成29年度の事業実施による実績値 ※達成度合いは、設問中の目標値に対する達成度合いが自動表示されます。目標値や実績値を半角数字で記入出来ない場合は、プルダウンで選択ください。	実績値(増分)	[単位]	実績値(増分)	[単位]	実績値(増分)	[単位]	実績値(増分)	[単位]	実績値(増分)	[単位]
		-3,079	千円	1,114	kg						
	計測年月	計測年月	計測年月	計測年月	計測年月	計測年月	計測年月	計測年月	計測年月	計測年月	
	平成 30 年 3 月	平成 30 年 3 月	平成 年 月	平成 年 月	平成 年 月	平成 年 月	平成 年 月	平成 年 月	平成 年 月	平成 年 月	
	目標値に対する達成度合い	目標値に対する達成度合い	目標値に対する達成度合い	目標値に対する達成度合い	目標値に対する達成度合い	目標値に対する達成度合い	目標値に対する達成度合い	目標値に対する達成度合い	目標値に対する達成度合い	目標値に対する達成度合い	
	513 %	①目標値を達成	279 %	①目標値を達成	## %		## %		## %		
	ス. 平成29年度の事業終了時点の実績値累計 ※達成度合いは、設問中の目標値に対する達成度合いが自動表示されます。目標値や実績値を半角数字で記入出来ない場合は、プルダウンで選択ください。	実績値(増分)	[単位]	実績値(増分)	[単位]	実績値(増分)	[単位]	実績値(増分)	[単位]	実績値(増分)	[単位]
		-5731	千円	1094	kg						
	目標値に対する達成度合い	目標値に対する達成度合い	目標値に対する達成度合い	目標値に対する達成度合い	目標値に対する達成度合い	目標値に対する達成度合い	目標値に対する達成度合い	目標値に対する達成度合い	目標値に対する達成度合い	目標値に対する達成度合い	
		446 %	①目標値を達成	235 %	①目標値を達成	## %		## %		## %	
	セ. 備考欄	実績値や年月を、半角数字で記入することが出来ない、その他上表に記載困難な場合には、以下備考欄をご活用ください。									
(目標値未達の場合のみ) 実績値累計の目標未達理由 ※設問中の「目標値に対する達成度合い」の回答結果を踏まえて、目標値未達の場合のみご記入ください。	ソ. 最も影響の大きい理由										
	タ. 次に影響の大きい理由										
		<凡例：選択肢> ① 外的要因 ② 計画不適切 ③ その他 ④ 不明 ⑤ 事業未実施 「③その他」を選択した場合は、その内容をご記入ください。									

2-1. ご記入いただいたKPIの内、本事業において代表的なKPIと考えるKPIをお選びください。(最大3つまで) ※上記左から、KPI 1、KPI 2、KPI 3、の順で並んでいます。

代表的KPI		
KPI 2		

○交付金事業の地方創生への効果 【全員】

3. 設問2のス「目標値に対する達成度合い」の回答結果を踏まえて総合的にご判断の上で、本交付金事業の地方創生への効果について、お聞かせください。

事業効果	
①地方創生に非常に効果的であった	

<凡例：選択肢>

① 地方創生に非常に効果的であった	例：全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
② 地方創生に相当程度効果があった	例：一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
③ 地方創生に効果があった	例：KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
④ 地方創生に対して効果がなかった	例：KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言えないような場合

C. 自立性担保の進捗

○自立化の進捗状況

4. 実施計画をご覧ください。

「先駆性に係る取組」の「(1)自立性」の「3~5年以内の自立化の見込み」で回答した選択肢をお選び下さい。

実施計画に記載された自立化の見込み	
①あり(自主財源による自立)	

注) 横展開タイプ、隘路打開タイプでは、選択肢②における「地方公共団体の一般財源による負担」に、事業収入や会員からの収入などのほかにも、行革努力による一般財源の捻出などが含まれます。

<凡例：選択肢>

① あり(自主財源による自立)
② あり(地方公共団体の一般財源による負担)
③ なし

4-1. 設問4で「あり(①もしくは②)」と回答いただいた方のみ、お答えください。

実施計画に記載された自立化の見込みは、当初の見込みどおりに進捗していますか。

平成29年度事業を踏まえた自立化の進捗	
②見込みどおり自主財源等確保	

<凡例：選択肢>

① 見込みを上回って自主財源等確保
② 見込みどおり自主財源等確保
③ 見込みを下回って自主財源等確保
④ 自主財源等確保の目処はたっていない

○自立化の課題 【全員】

5. 平成29年度事業を踏まえて、取組みの自立化に向けて課題と感じていらっしゃることを、可能な範囲で具体的に記入ください。

(観点の例：収入・財源の確保、ビジネスモデル、事業推進体制、技術・ノウハウを有する人材など)

不安定な受け入れ数の改善、安定的な販売先の確保、商品のブランド化のための手法等の課題がある。
--

D. 事業の実施状況

○事業実施時に留意した項目 【全員】

6. 貴団体が本事業を実施するにあたって留意した項目について、お聞かせください。(〇はいつでも)

注) 各項目の詳細は、内閣府から公表している「地方創生事業実施のためのガイドライン」総論-Ⅲ.事業化プロセス編に記載していますので、必要に応じてご参照ください。

【事業アイデア・事業手法の検討段階】

- ア. 地域住民や利害関係者との話し合いを通じて課題やニーズを明確化している
- イ. 定量的・客観的な分析を通じて地域の実態やニーズを捉えている
- ウ. 地域の特色ある資源や強みを活用している
- エ. 事業手法の検討に外部人材・知見を活用している
- オ. 異なる分野の政策を組み合わせた事業とするため、団体内の複数部署や様々な分野の民間企業と連携している
- カ. スケールメリットや人材・ノウハウ融通のため、複数の地域間で連携している
- キ. 事業実施体制の構築において、地域の企業・団体等の既存組織・ネットワークを活用している
- ク. 関係者の役割・責任について明確化している

【事業の具体化段階】

- ケ. 資金調達の方法や事業採算性など事業が継続性をもって自走していくことのできるプロセスを明確化している
- コ. 経営視点からの検証のため、事業実施経験のある人材を活用している、または知見ある外部専門家から助言を受けている
- サ. 事業終了までの詳細な工程計画(四半期単位、月単位等)を策定している
- シ. 事業と直接性があり、客観的な成果を表すKPIを選定し、妥当な水準の目標値を設定している

【事業の実施・継続段階】

- ス. 事業実施主体間で定期的にコミュニケーションを行っている (セ. 左記コミュニケーションの頻度 )
- ソ. KPIの進捗について定期的に管理している (タ. 左記進捗管理の頻度 )
- チ. 担い手となるキーパーソンや、事業を継続的に進めていくマンパワーを確保している
- テ. 地域住民・事業者や利害関係者が事業の推進や改善に参加できる仕組みをつくっている
- ツ. 事業の目的・目標や生じつつある効果等の現状、事業がもたらすメリットについて情報発信し、事業実施に対する納得感を醸成している

<凡例：選択肢> (セ、タ共通)

① 月1回以上
② 四半期に1回程度
③ 半期に1回程度
④ 1年に1回程度

【事業の評価・改善段階】

- ト. 外部組織や議会等により事業の効果を多角的に評価検証している
- ニ. 事業の評価を踏まえて対応策を決定し、実行に移している
- ナ. KPIの達成状況を定期的に確認し、未達成の場合はその要因を分析している
- ノ. 事業の改善方針について次年度以降の事業計画に反映している

E. 効果検証

○議会による効果検証 【全員】

7. 議会による効果検証の有無、時期について、お聞かせください。

Table with 2 columns: 議会による効果検証の有無, 議会による効果検証の時期. Value: ②実施予定, H 30 年 10 月

<凡例：選択肢>

- ① 実施した ② 実施予定 ③ 実施しない（予定）

○外部組織による効果検証 【全員】

8. 外部組織による効果検証の時期、本事業の評価について、お聞かせください。

Table with 3 columns: 外部組織による効果検証の有無, 外部組織による効果検証の時期, 外部組織による本事業の評価. Value: ②実施予定, H 31 年 1 月, ① 地方版総合戦略のKPI達成に有効であった、との意見

<凡例：選択肢>

- ① 地方版総合戦略のKPI達成に有効であった、との意見 ② 地方版総合戦略のKPI達成に有効とは言えない、との意見

○事業実施状況の見直し

9. 設問7または設問8で「①実施した」と回答いただいた方のみ、お答えください。議会または外部組織による効果検証を通じた、事業の実施状況の見直しについて、お聞かせください。

Table with 1 column: 効果検証を通じた事業見直しの状況

<凡例：選択肢>

- ① 効果検証において「改善が必要」との指摘はなく、事業は適切に実施されている ② 効果検証において「改善が必要」との指摘があったものの、適切な改善が図られている ③ 効果検証において「改善が必要」との指摘があったが、現状では適切な改善が図られていない

F. 事業を進める中での課題・苦労、及びそれに対する取組の修正・改善

10. 平成29年度の事業を進める中での課題・苦労について、お聞かせください。 【全員】

Table with 2 columns: 事業を進める中での課題・苦労の有無, ①課題・苦労があった

<凡例：選択肢>

- ① 課題・苦労があった ② 課題・苦労はほとんどなかった ③ 課題・苦労は全くなかった

10-1. 設問10で「①課題・苦労があった」と回答いただいた方のみ、お答えください。以下の中から、特に苦労したことを最大で3つまで、お聞かせください。

Table with 2 columns: 特に苦労したこと（3つまで）, ①事業推進体制の検討 ⑦庁外・組織外（地域内・地域外の事業者、住民）との調整・合意形成 ③ビジネスモデル・資金繰りの検討

<凡例：選択肢>

- ① 事業推進体制の検討 ② 事業経営や技術ノウハウを有する人材の確保・育成 ③ ビジネスモデル・資金繰りの検討 ④ 事業実施場所（施設・設備）の検討 ⑤ 規制・許認可への対応 ⑥ 庁内・組織内（幹部、原課、財政課等）との調整・合意形成 ⑦ 庁外・組織外（地域内・地域外の事業者、住民）との調整・合意形成 ⑧ 連携先の地方公共団体との調整・合意形成 ⑨ その他（例：予期せぬ外部環境変化が起こった等） ※⑧については、広域事業の場合のみ、選択ください。

「⑨その他」を選択した場合は、その内容を具体的にご記入ください。

10-2. 設問10-1を回答いただいた方のみ、お答えください。設問10-1の課題・苦労に対応して、取組を進めながら修正・改善を行われた場合、その内容について、可能な範囲で具体的にご記入ください。注）事業実施計画の申請時点での想定との相違点に対し、取組の事（平成29年度内）において、修正・改善により取組を前進させた点をお聞かせください。

Text input area for 10-2 response.

11. 平成30年度以降も継続して事業を実施する団体のみ、お答えください。

平成29年度の事業実施・成果を踏まえて、平成30年度以降における取組の修正・改善について、可能な範囲で具体的にご記入ください。注）事業実施計画の申請時点での対比で、平成29年度事業成果を踏まえたPDCAによる事業改善の観点から、取組を修正・改善させる点をお聞かせください。

Text input area for 11 response.

G. 今後の事業展開方針

12. 本事業の今後の方針について、お聞かせください。 【全員】

Table with 2 columns: 今後の方針, ①事業の継続（計画通りに事業を継続する）

<凡例：選択肢>

- ① 事業の継続（計画通りに事業を継続する） ② 事業の発展（事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる） ③ 事業の改善（事業の効果が不十分であったことから見直し（改善）を行う（または、行った）） ④ 事業の中止（継続的な事業実施を予定していたが中止する（または、した）） ⑤ 事業の終了（当初予定通り事業を終了する（または、した））

II. その他

○事例の自己推薦 【全員】

13. 「地方創生関係交付金の活用事例集」の掲載事例として、本事業を取り上げるべきかについて、理由とともにお聞かせください。

Table with 2 columns: 事例の自己推薦, ⑤特に推薦しない. Value: 「④その他の理由により推薦する」を選択した場合の推薦理由

<凡例：選択肢>

- ① 計画を上回る大きな効果を上げた事業として推薦する ② 課題解決のための取組内容が他団体の参考となるため推薦する ③ 課題や苦労が他団体への示唆に富むため推薦する ④ その他の理由により推薦する ⑤ 特に推薦しない

○他の地方創生関係交付金の活用状況 【全員】

14. 平成28年または平成29年当初・推進交付金を活用した本事業と密接な関係性を有する事業として、その他の地方創生関係交付金を活用していますか。（○はい/□でも）

- 平成26年補正・地方創生先行型交付金を活用した。 □ 平成27年補正・地方加速化交付金を活用した。 □ 平成28年補正・地方創生拠点整備交付金を活用した。 □ 平成29年補正・地方創生拠点整備交付金を活用している。 ○ 平成30年当初・地方創生推進交付金を活用している。 ○ 平成28年または平成29年当初・推進交付金以外に地方創生関係交付金活用実績はない。

○ガイドライン、事例集の活用状況

15. 内閣府から公表している「地方創生事業実施のためのガイドライン」や「地方創生関係交付金の活用事例集」の活用状況について、お聞かせください。 【全員】注）本事業への活用に限らず、貴団体における地方創生事業全体に関する認識としてお答えください。

Table with 2 columns: ガイドライン、事例集の活用状況, ②活用していない

<凡例：選択肢>

- ① 活用している ② 活用していない ③ ガイドライン、事例集の存在を知らなかった

15-1. 設問15で「①活用している」と回答いただいた方のみ、お答えください。以下の中から特に活用した項目を、お聞かせください。（○はい/□でも）

- 先駆性要素 □ KPIの設定 □ 事業化プロセス(総論) □ 事業化プロセス(各論) □ 事例集

15-2. 設問15で「①活用している」と回答いただいた方のみ、お答えください。ガイドライン、事例集の活用方法について、お聞かせください。（○はい/□でも）

- 地方創生交付金事業のテーマ探いや計画策定にあたり参照している □ 地方創生交付金事業の実施・運営にあたり参照している □ 地方創生交付金事業以外の事業のテーマ探いや計画策定にあたり参照している □ 地方創生交付金事業以外の事業の実施・運営にあたり参照している

○ガイドライン、事例集に関する意見・要望 【全員】

16. 内閣府から公表している「地方創生事業実施のためのガイドライン」や「地方創生関係交付金の活用事例集」についてのご意見・ご要望がありましたら、お聞かせください。

Text input area for 16 response.

以上で全て終了です。